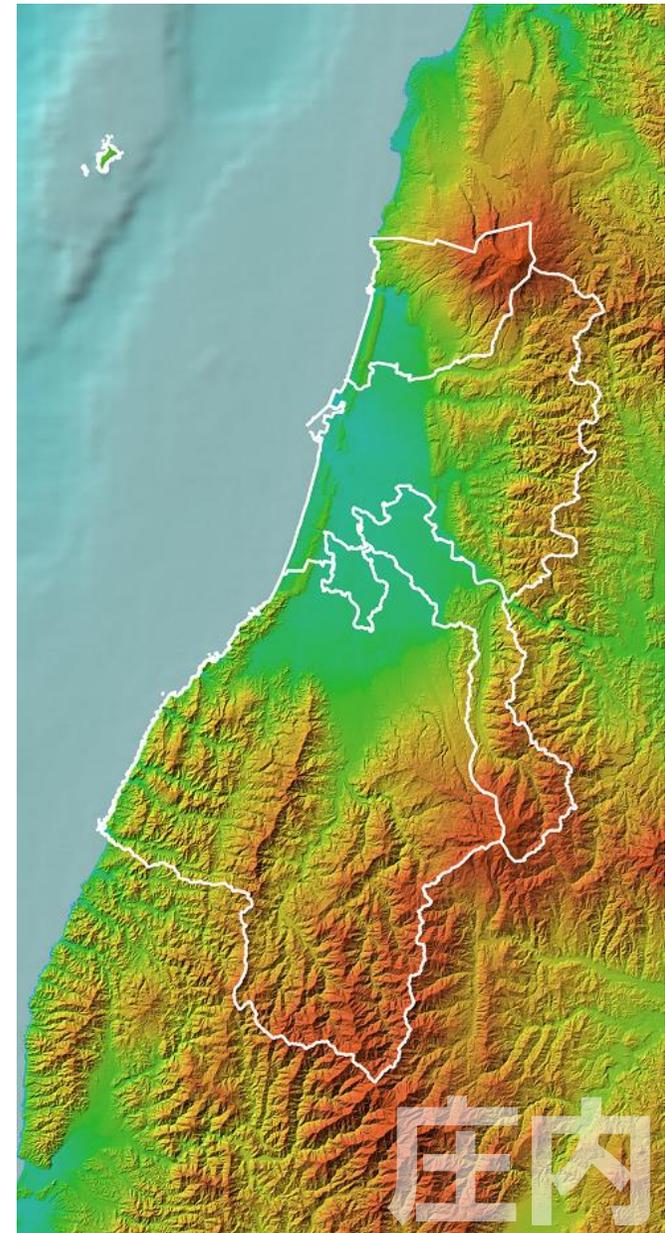


庄内総合支庁管内の 主な地域課題と取組状況等について

- 1 庄内地域の若者定着・回帰
- 2 「食の都庄内」の取組み
- 3 新型コロナウイルス対応
- 4 高規格道路の整備促進
- 5 庄内空港開港30周年記念事業
- 6 地域の話題

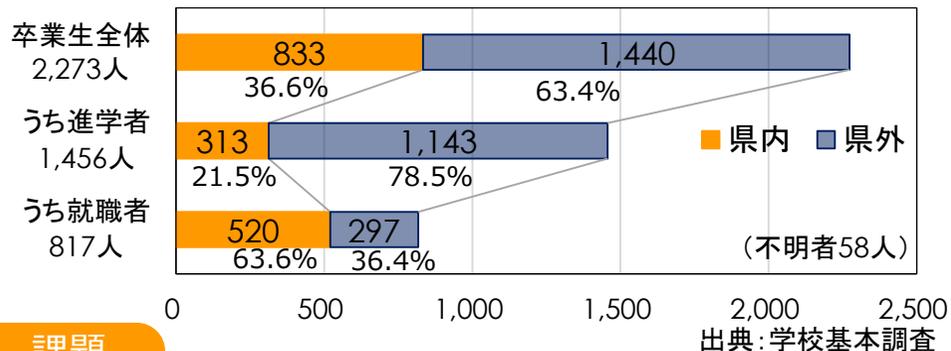


1 庄内地域の若者定着・回帰

現状

高校卒業生の多くが進学・就職のため県外に転出

● 管内高校生が進路状況 (R2.3)



課題

- ① 地元で暮らす選択を促進するため、若者の郷土愛を醸成することが必要
- ② 高卒就職者の県内定着率を高めることが必要
- ③ 県外進学者の回帰、UIJターンにより転入者を増加させることが必要

主な取り組み

- ① 若者の郷土愛の醸成を促進する取り組み

～地域で活躍する若者と共に郷土について考える機会の提供～

若者「庄」学校ワークショップ

- ・ 高校生を対象に、庄内地域で活躍する若者と共に郷土について考えるワークショップを開催
- ・ 「地元以外の友達に、わたし・ぼくの住む地元を好きになってもらおう～遊び・観光プランを作って、実際に行こう!～」をテーマに、鶴岡市、酒田市の会場でワークショップを、鶴岡市内でフィールドワークを行い、オンラインで発表会を実施 (管内9校から高校2年生25名、地域の若者14名参加)

推進体制

「庄内若者定着促進会議」



少子高齢化、人口減少が加速する中、労働力を確保し、地域の維持発展に不可欠な若者の定着を促進するため、「産・学・官・金・労・言」の各界が、危機感を共有しながら意思疎通を図り、若者人材の定着・回帰を促進する施策を検討

高卒者等県内就職促進 ワーキングチーム

【対象】 中・高校生

- ・ 企業との交流会
- ・ 職業体験会
- ・ 企業説明会
- ・ 企業見学会
- ・ インターンシップ等情報提供

県内進学促進 ワーキングチーム

【対象】 小・中・高校生及び県内大学生等

- ・ 学生帰省費用支援
- ・ 学校PR
- ・ 地域の魅力発信

県外大学等進学者・県内回帰促進 ワーキングチーム

【対象】 県外進学者・保護者

- ・ 就活に向けた情報発信
- ・ 企業説明会

UIJターン促進 ワーキングチーム

【対象】 UIJターン希望者

- ・ 企業説明会
- ・ 移住相談
- ・ 情報発信
- ・ 移住体験事業



1 庄内地域の若者定着・回帰

② 高卒就職者の県内定着率を高める取組み

～ 生徒自身が地元でいきいきと働くイメージを持てるよう、
職業体験や地域の働く大人たちとの交流機会を創出 ～

中・高生の職業体験会「WAKU WAKU WORK」

- ・地域の様々な企業等がブースを配置し、生徒が実際の作業を模擬体験(7校110社予定)
- ・R3年度から総合支庁・市町・学校が実行委員会を組織し、持続的に取り組める体制を構築



高校生と地元企業との交流会

- ・若手・女性社員が各企業ブースで高校生と率直な意見交換を実施(4校110社予定)
- ・地元企業を身近に感じる機会となっている



医療(看護師)への就業促進

- ・高校生向けバイタルサイン(血圧等)測定体験や看護職員との交流等により、看護師の魅力について理解を促進する看護師体験セミナーを開催



建設業への就業促進

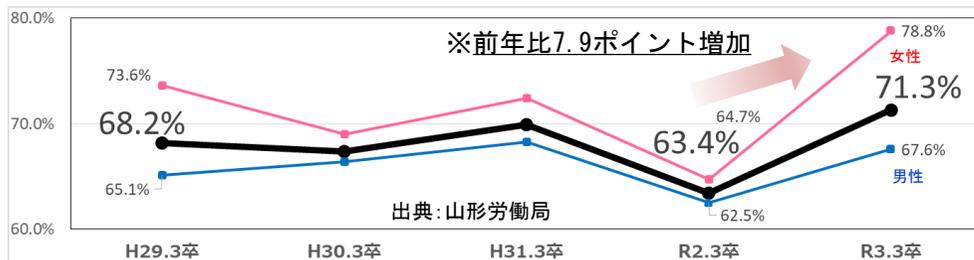
- ・高校生向け現場見学会、若手社員との意見交換会を開催



高等学校長等との意見交換会

- ・高卒就職者の多い管内高等学校の学校長及び進路指導担当と、地元定着率向上に向け意識を共有し、効果的な施策の展開について意見交換会を開催

- 高卒就職者の県内定着率の推移(庄内)



③ 県外進学者の回帰、UIJターンによる転入者増加のための取組み

～ 学生・保護者・UIJターン希望者に庄内の企業・くらしの情報を様々な媒体を活用して発信 ～

保護者を通じた県外進学者への就職情報提供



- ・就活を始める大学3年生に、就職先選択の重要な助言者となる保護者を通じて地元就職に関する情報を送付(3回)
- 7月 ふるさと就職のすすめ、インターンシップ情報(夏)
- 12月 インターンシップ情報(冬)
- 3月 **企業採用ガイドブック**

- ・総合支庁、市町、産業界が連携し、**庄内全域の企業採用ガイドブック**を令和3年3月新たに作成
- ★ 配布先アンケートに寄せられた意見「庄内の企業が一覧でき、わかりやすい」、「明るい写真と社員コメントで企業イメージを持ちやすい」など



SNS・HPを活用した地域企業の魅力発信

- ・庄内総合支庁Facebookで地域企業の代表者や若手社員へのインタビュー記事を紹介



学生・UIJターン庄内就職説明会

- ・新卒大学生、UIJターン希望者等を対象に、地元企業との就職面談の場を提供

1 庄内地域の若者定着・回帰

「庄内暮らしツタエタイ」による情報発信

- ・ 庄内地域での日々の暮らしをSNSで発信できる方を「庄内暮らしツタエタイ」（以下「隊員」という。）として任命
- ・ 県外在住の移住に関心を持っている方をターゲットに情報発信
- ・ 隊員18名が、それぞれのSNSから「#庄内暮らしツタエタイ」を付けて地域の情報を発信中

隊員のInstagramによる発信 ▶



オンライン移住トーク&交流会

「若者だって山形に住みたい！」を応援の開催



- ・ 若い世代の隊員をゲストスピーカーに、オンライン移住トーク&交流会「若者だって山形に住みたい！」を応援」を8月に開催し、県外在住者8名が参加
- ・ 11月には、オンラインによる芋煮会や隊員をファシリテーターとしたテーマ別の交流会を開催予定

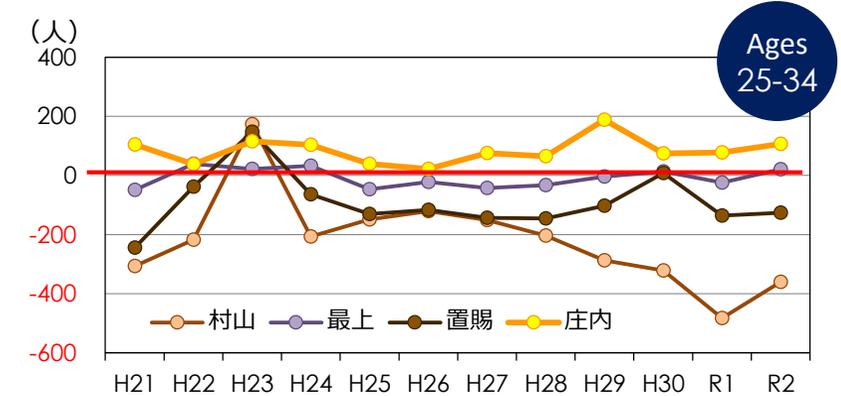
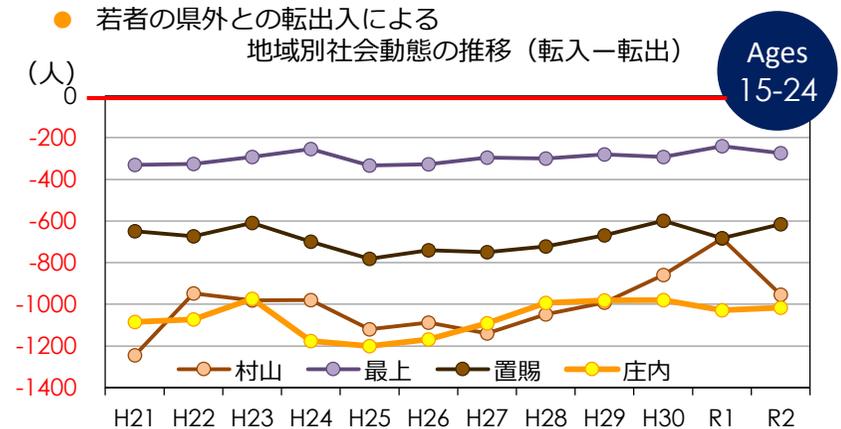
オンライン移住セミナー

やまがたハッピーライフカフェ「庄内さ、いGo！」の開催

- ・ 管内2市3町と連携し、移住支援策等についてPRするオンライン移住セミナーを9月に開催し、県外在住者27組が参加。「秋こそ楽しむ庄内暮らし」をテーマに、庄内地域の秋の風景をリアルタイムで配信

庄内地域の25～34歳の転入超過の要因分析

- ・ 統計データ及び転入者へのアンケート調査により傾向を分析し、若年世代のU I Jターン促進に向けた施策につなげる
- ・ 庄内地域は15～24歳の県外転出超過が県内4地域で最多
- ・ 庄内地域は25～34歳の県外転入超過が10年以上継続



出典：山形県の人口と世帯数

2 「食の都庄内」の取組み



「食の都庄内」づくり

庄内の四季折々の多彩な食材と、歴史・風土が育んだ食文化を、庄内の魅力として地域内外に発信するとともに、多様かつ主体的な取組みを通して、「食の都庄内」のブランド化を推進し、食を起点とした地域産業の活性化を図る取組み

「食の都庄内」づくりアクションプラン[第5期]

実施期間：令和3年度～6年度（令和3年3月策定）

展開方策

- 1 庄内の食材の価値・ブランドの更なる向上
- 2 庄内の料理人等の育成・定着
- 3 庄内の「食」を中心とした交流拡大

取組みの視点

- ・ウィズコロナ、ポストコロナに対応するデジタルツールの活用促進
- ・庄内地域における「食の都庄内」づくり事業に関わる裾野の拡大

主な取組内容

展開方策1 庄内の食材の価値・ブランドの更なる向上

SNS等を活用した情報発信の強化

- ・インスタグラムにより庄内の「食」の魅力を伝える「アンバサダー」を新たに募集し、情報発信（R3：庄内砂丘メロンをPR）
- ・飲食店の発信力アップのため、飲食店向けの「SNS映えする料理写真の撮り方講座」を開催
- ・ネット販売を促進するため、庄内地域の生産者・事業者の通販サイトを一覧にした「ネット通販まとめサイト」を開設し、ツイッターなど公式SNSで繰り返し紹介



アンバサダーによる投稿写真



2 「食の都庄内」の取組み

ブランドを支える生産基盤の確立と、高付加価値の創出

● 農業分野 ●

- ・ 衛星リモートセンシングを活用した「つや姫」の生育診断技術の広域実証
- ・ アスパラガスのハウスを利用した長期どり栽培の拡大・選別機等の導入による大規模団地化の推進
- ・ 庄内柿の消費者ニーズにあった大玉で高品質な果実生産と、付加価値の高い干し柿生産の支援



アスパラガスの大規模団地化



温風乾燥機を使った干し柿

● 水産業分野 ●

- ・ 新規漁業就業者の確保に向けた、就業の動機づけ、就業準備研修、独立経営初期の所得補償など各段階に応じたきめ細やかな支援
- ・ 庄内浜産水産物の安定供給と魚価の安定化に向けた蓄養モデル実証
- ・ 庄内北前ガニ、庄内おばこサワラ、天然とらふぐのブランド化に向けたキャンペーンの展開



屋外水槽を利用した蓄養モデル実証



庄内北前ガニ



庄内おばこサワラの刺身



天然とらふぐの刺身

2 「食の都庄内」の取組み

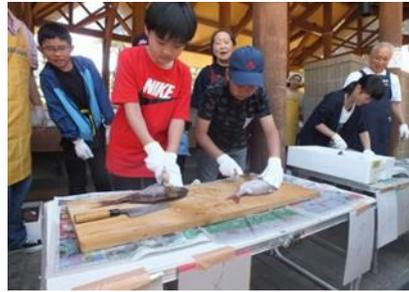
展開方策2 庄内の料理人等の育成・定着

若者への庄内の「食」の価値の伝承と、担い手となる料理人などの育成・定着

- ・地域の「食」への理解を深めるため、農水産業等の親子体験教室や、小学生などを対象とした庄内浜文化伝道師食育教室を開催
- ・料理人を目指す高校生による産地見学会とレシピ開発（R3のテーマ：庄内砂丘メロン）
- ・若者に「食」の魅力を発信するため、生徒・学生が生産者や地元料理人を取材した記事を地域情報誌に掲載



親子体験教室の様子 (R2)



庄内浜文化伝道師による食育教室



高校生が開発したメロン料理



地域情報誌による発信

展開方策3 庄内の「食」を中心とした交流拡大

- ・旅行者が旅館にいながら酒蔵を訪れた雰囲気味わうオンライン体験イベントの開催
- ・管内の観光施設や飲食店の施設情報・特典を掲載した「庄内まちナビカード」を作成し、周遊を促す情報を発信
- ・庄内管内の飲食店を周遊するグルメ巡りキャンペーンの実施
- ・「食の都庄内」サポーター対象のオンライン交流会の開催
- ・庄内の食材と地域資源の組合せをテーマにしたプロモーション動画の作成



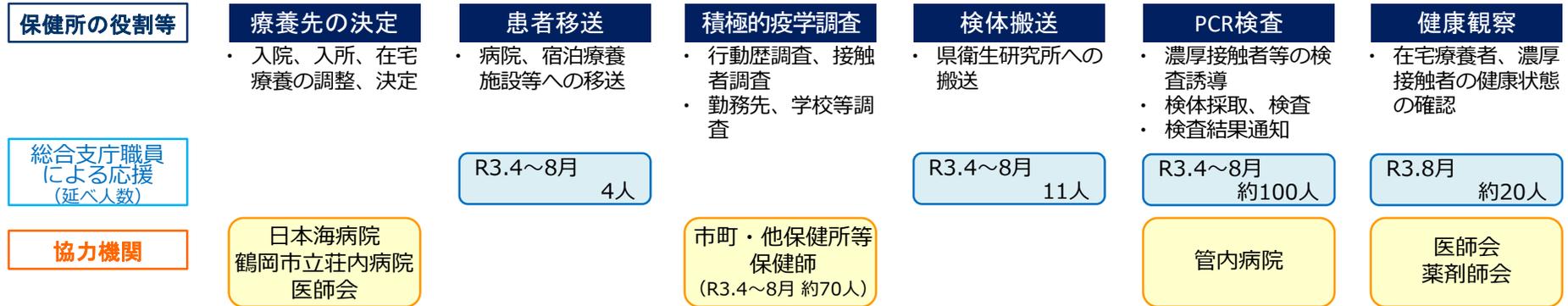
庄内まちナビカード



3 新型コロナウイルス対応

～ 庄内地域では、保健所、総合支庁、市町、病院、医師会、薬剤師会等の関係機関が連携・協力し、県民の命を守るため、総力をあげて対策に取り組んでいる ～

(1) 庄内総合支庁が全庁体制で対応している取組み



(2) 医療機関等と連携した取組み

○ 患者の状態を確認し、適切な療養先を判断・決定するため、庄内保健所では原則発生届を受理した翌日に、日本海総合病院・鶴岡市立庄内病院にトリアージ診察（採血や胸部CT等の検査を行い、入院の要否を判断するもの）を依頼し、その結果を受けて保健所が療養先を決定している。在宅療養では、かかりつけ医や協力医等との連携体制を構築し、電話診療を実施している。



(3) 庄内総合支庁を会場とした職域接種の実施状況

実施日：（1回目）9月7日(火),10日(金),16日(木) （2回目）10月5日(火),8日(金),14日(木) 接種者数：1,030人程度

対象者：庄内・最上管内の公所に勤務している職員及びその同居家族、庄内・最上管内の公所に勤務している各種団体・受託業者の職員等

4 高規格道路の整備促進

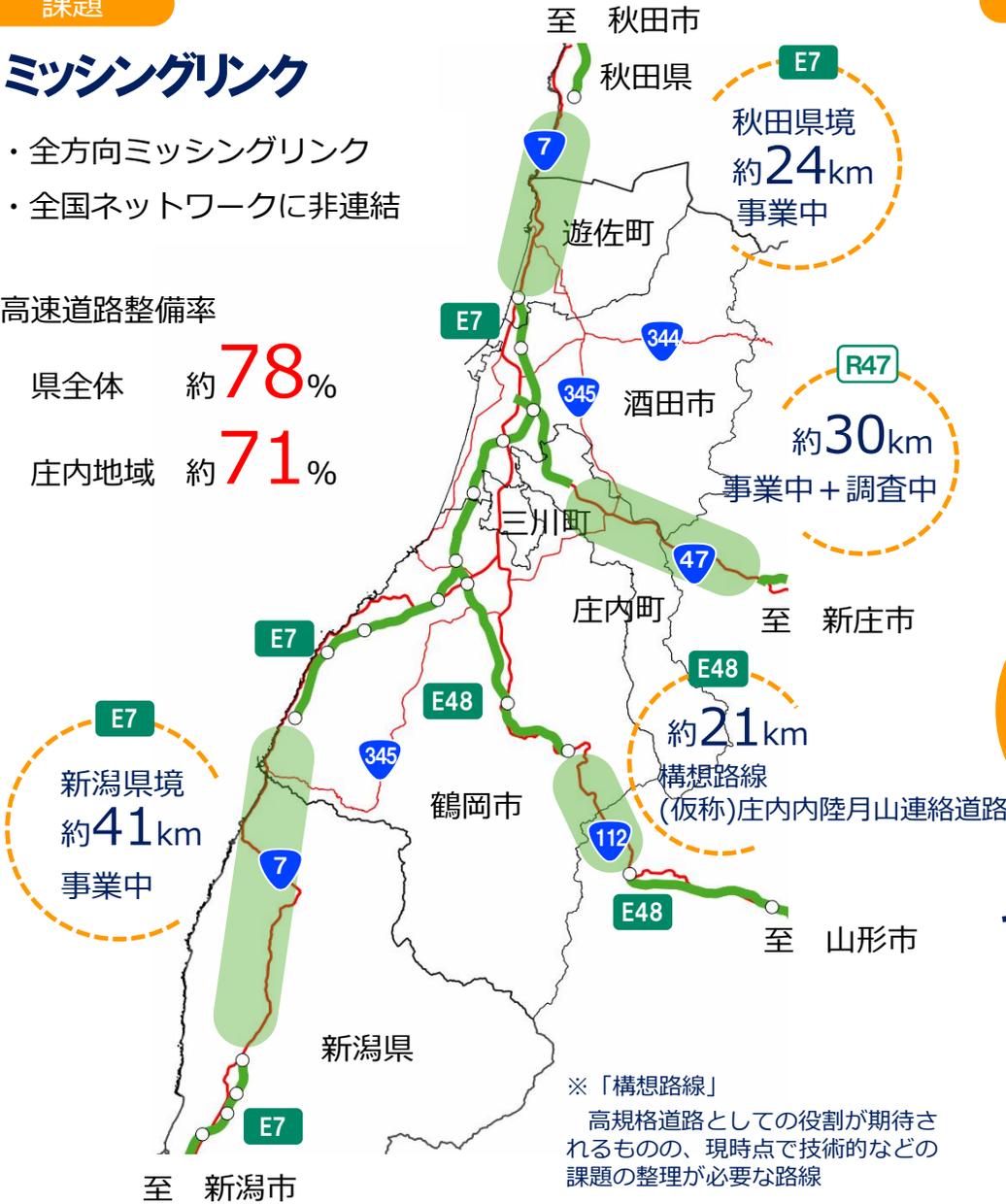
課題

ミッシングリンク

- ・全方向ミッシングリンク
- ・全国ネットワークに非連結

高速道路整備率

県全体 約 **78%**
 庄内地域 約 **71%**



※「構想路線」
 高規格道路としての役割が期待されるものの、現時点で技術的などの課題の整理が必要な路線

取組み

セミナー開催

(共催：庄内総合支庁・庄内開発協議会)



講師陣

事業者

酒田河川国道事務所

利用者

エイエスエム
 トランスポート
 工藤亜紀子さん
 &
 ばんどりや
 古館由隆さん

学識経験者

東北芸術工科大学
 西直人准教授

要望者

庄内
 総合支庁

要望活動等に活用

国土交通省

その他団体等の取組み

- ・日本海夕陽ラインシンポジウム
- ・日本海沿岸東北自動車道建設促進フォーラム
- ・日本海沿岸東北自動車道山形・秋田県境区間建設促進大会
- ・国道47号・新庄酒田地域高規格道路整備促進同盟会総会
- ・戸沢村・庄内町地域連携フォーラム
- ・政府の施策等に対する提案 等

5 庄内空港開港30周年記念事業

(1) 記念セレモニー（10月1日）

- ・ 感染防止対策をとり、参加者を限定してセレモニーを実施。併せて到着便への歓迎放水アーチや搭乗者への記念品贈呈、ANAスタッフが開港当時の歴代制服を着用してのお見送りを実施



くす玉開披



放水アーチ

(2) 開港30周年記念コーナー（10月23日、24日）

- ・ イオンモール三川にて、庄内空港の歴史を振り返る写真を展示。併せて羽田空港のお土産販売や30周年記念グッズが当たる抽選会を開催



(3) 山形県パノラマ遊覧飛行（11月27日）

- ・ F D A のチャーター便を活用し、山形県などの上空を約60分遊覧する庄内空港発着の旅行商品を販売
- ・ 「やまがた夏旅」キャンペーン活用により、1名あたり16,000円

(4) おいしい庄内空港ファンクラブの設立（準備中）

- ・ 開港30周年を記念し、庄内空港により親しみを感じてもらい、利用回復の起爆剤となるよう、ファンクラブを設立
- ・ コミュニケーションアプリLINEを活用し、県内外からのリピート利用を促進

[会員特典（検討中）]

- ・ 空港ラウンジ（庄内、羽田）の無料利用
- ・ 空港テナントお買い物代金300円オフ
- ・ 釣りケーションとの連携特典（釣りエサ無料など）



庄内空港ビルマスコット「まめうさ」

(5) 航空自衛隊「ブルーインパルス」の展示飛行

- ・ 開港30周年の記念と、地域で新型コロナウイルス感染症の対応にあたる医療従事者に敬意と感謝を示すため、航空自衛隊「ブルーインパルス」(遠渡祐樹隊長、三川町出身)が庄内地域の上空で展示飛行を実施
(県及び庄内2市3町が航空幕僚長に展示飛行を申請)

<実施日時>

10月23日（土）13:30～14:00

（練習飛行 10月22日（金）10:50～11:20）

<飛行ルート>

松島基地 - 庄内2市3町上空
- 松島基地（右図のとおり）



6 地域の話題

□ 東北デスティネーションキャンペーン (令和 3.4.1~9.30)

出羽三山の丑歳御縁年特別企画をはじめ、地域の強みである精神文化、日本遺産、自然、温泉、食を活かした様々な取組みが各地で行われた。

庄内地域では、エリアガイドブックの作成、JR東北MaaSと連携した電子チケット発行、観光列車「海里」へのおもてなし等を実施。

【主な受入企画】

- ・ 出羽三山丑歳御縁年関連特別企画
- ・ あつみバラの足湯&ライトアップ
- ・ 總光寺マインドフルネス体験



庄内エリアガイドブック



JR東北MaaSと連携した電子チケット

特別企画 出羽三山丑歳御縁年 関連

令和3年は出羽三山丑歳御縁年にあたり、以下の特別企画を実施している。

- ・ 蜂子皇子御尊像特別参拝
- ・ 湯殿山御沢駆け体感 御沢仏特別参拝
- ・ 即身仏入定木棺等展示



蜂子皇子御尊像特別参拝 (R3.4.29~11.3)



御沢駆け体感御沢仏特別参拝 (R3.4.29~11.23)



即身仏木棺等展示 (R3.7.7~11.29)

□ 酒井家庄内入部400年・松ヶ岡開墾150年

令和4年は酒井家が藩主として庄内に入部して400年。また令和3年は松ヶ岡の開墾150年の節目の年。鶴岡市ではこれらに関する式典や講演会、動画等による情報発信等様々な記念事業を展開している。

(鶴岡市)



酒井家庄内入部400年



開墾150年にあたる松ヶ岡開墾場

□ 飛島と本土を結ぶ光ファイバケーブルの整備 (酒田市)



海底光ケーブルの敷設ルート

光ファイバケーブルの整備により遠隔診療の機能向上、公衆無線LANの整備による利便性の向上等により、島民生活の向上と交流人口の拡大が期待される。

(令和4年 供用開始予定)

□ 庄内浜釣りケーション [釣り+ワーケーション]

鶴岡市由良地域自治会の発案を事業化。「釣・働・泊」を結び付けた域内連携による観光資源の磨き上げを図る実証事業を実施。

- ・ 「釣りモニターツアー」の実施
- ・ 「釣り文化オンラインイベント」の実施
- ・ 「釣りケーションモニターツアー」の実施 等



ANAウェブサイトでのPR中